

「第4回鹿児島港本港区エリアの利活用に係る検討委員会」
ポスターセッション
【コアタイムにおける主な発表要旨】

- ・ 日 時：令和5年7月22日（土）10:00～16:00
（うち、コアタイム 10:30～11:30, 13:30～14:30）
令和5年7月23日（日）午前10時～午後4時
（うち、コアタイム 10:30～11:30, 14:30～15:30）
- ・ 場 所：鹿児島港本港区北ふ頭旅客ターミナル2階
- ・ 来場者数：令和5年7月22日（土） 151人
令和5年7月23日（日） 206人
2日間合計 357人

○主な発言要旨 **（ポスター掲示番号（意見募集番号））**

【2 (22)】

- ・ 巨大道の駅の提案。理由は2つ。1つ目は、鹿児島に金が落ちる、鹿児島で金が回る。2つ目は、10年ぐらいしたら食料難の時代が来る。その時に慌てて、県内の生産者、農業漁業の1つについても間に合わないと思う。その人たちを育成する、維持するためにも巨大道の駅、こういう構造。
- ・ 渋滞対策のために路面電車を通したい。

【4 (24)】

- ・ 子連れで楽しめるエンターテイメント港町というのを想像している。子供がいるといろいろな制限があり、誰かの助けが必要だったりするが、なかなか助けてもらえない。
- ・ お年寄りとか海外の方、体の不自由な方も楽しく優しい雰囲気を楽しめる感じの場所、落ち着ける場所になったら良い。
- ・ 自然豊かなので、子供の心を豊かにする場所になってほしい。
- ・ 育児でどうしても2人の時間ない。レストラン、カフェ、散歩ができるためには、託児所が必要。
- ・ 海外観光客向けに、言葉が話せるスタッフ、ご老人の相手ができるスタッフがおり、また、簡易的な診療所とかがあったら安心して来ることができる。

【8 (47)】

- ・ 港の風景、色合いがおとなしすぎるから、もっとカラフルにするということを提案する。
- ・ 薩摩維新村構想として、鹿児島だけしかできないテーマパーク。明治維新の屋敷

跡を使って、いろんなショッピングモールとか、物販、飲食という提案。

- ・ラウンドポート構想案として、ドーム型円形を使って、この上に空中回廊、歩いて景観を見る。中庭は石畳にする。これと並行して、1階にウォールアート。

【9 (48)】

- ・北ふ頭は南の玄関口であることから、モーターボート、ヨット、また、バナナというドライブみたいな感じで横づけする。

- ・鹿児島地の魚の寿司屋、黒豚料理を出すお店を出す。
- ・沖小島や神瀬灯台の珊瑚を見るツアーや、桜島を回る観光をする。
- ・海水浴場やタラソセラピーの施設があれば良い。

【11 (51)】

- ・カゴタワーという、東京タワー、札幌タワーとかいろいろあるので、鹿児島にシンボルになるものがほしい。

- ・周辺には、小さな遊園地、アウトレットショッピングエリアを、魚類市場に橋を架ける。

- ・住吉町15番街区エリアは駐車場として使用しているが、歩くには距離があるため動く歩道を付ける。

- ・カゴタワーは、桜島の10分の1の高さで111.7m。

【14 (64)】

- ・ガス灯設置の提案。
- ・鹿児島は、国内初のガス等の実験に成功した。
- ・現在、横浜にて展開されている。
- ・優しい光が照らし出される。

【15 (65)】

- ・北ふ頭に多機能なスタジアムの建設を提案する。

- ・イメージは、霧島市溝辺にある鹿児島空港。空港は、様々な人が行き交い、特産物をお土産物として販売し、地域に密着したレストランやカフェ、ちょっとした買い物ができるコンビニ、ATMや、荷物の宅配所な生活インフラまである。そこで、北ふ頭から鹿児島県の各地を繋ぐ複合型旅客ターミナルと多機能なスタジアムを併設する。

- ・少子高齢化の対策に若者の存在は欠かせない。ぜひ、この北ふ頭に、若者が希望の持てる魅力ある施設ができることを切に願う。

【19 (74)】

- ・本港区エリアの土地利用に関してまちづくりゾーニングを鳥瞰図で示した。
- ・北ふ頭は、奄美沖縄航路の船が来るということで作られた。しかし、平成20年頃、新港区の方に残るということになり、ここは奄美喜界航路だけ残った。
- ・現在、使われてないという状況の中で、我々はここにカフェレストランはどうか。昼間はカフェやランチ、夜はレストラン、バー、ラウンジなどはどうか。但し、桜島の爆発を考えた場合、7mの津波が2、3分で来る。そういうことを考えて、最低10mの高さを確保したい。
- ・それとパビリオン。鹿児島島の歴史、文化とか、いろんなものをここで学習する場として情報発信したらどうか。
- ・ドルフィン跡地は、非常に大事なものは、このマイアミ通りから右側の桜島が綺麗に見えるところ。左側に、高さ20、30mぐらいの小さなMCMCとショッピングとグルメを作ったらどうか。
- ・ウォーターフロントパークはそのまま残す。但し、市もちょっと綺麗にしてほしい。綺麗にした形で朝、夕方、皆さん方ウォーキングとかいろいろ使ってほしい。
- ・住吉町15番街区は、若者のためのボルダリングとか、スケートボード。全国大会ができるようなものを作ってもいいんじゃないか。全国から若者が来るんじゃないか。更に、市場の奥の方は非常に荒れていることから、ここにフィッシャーマンズワークとかを作ったらどうか。

【23 (85)】

- ・NPO法人がごしまスライドサークルをしており、鹿児島県スケート連盟にて、スケートを中心にしたスポーツ活動をしている。
- ・新しいものを作るということではなく、今使われてないところの利活用として、若者、子供、大人にスポーツの場を与えてほしい。
- ・例えば、ここ（旅客ターミナル2階）やドルフィンポート跡地の駐車場も普段使われてないので、スケート場として使わせてほしい。

【32 (109)】

- ・基本的に、ドルフィンポート跡地からウォーターフロントパークを通して、桜島に抜けていく景観を非常に重視。抜けのある空間を大事にしていきたい。
- ・体を動かすようなもの、マリンスポーツについても、できるだけ低料金で、あるいはお金をかけずに日々楽しめるような整備が、このエリアにはまずキーとして存在した上で、箱物は、別な場所をご検討いただきたい。

【34 (117)】

- ・ 県外から来た観光客で、わくわくしながら来たというイメージで、ドルフィンポートを計画した。
- ・ 鹿児島県南北600kmの楽しさ、食が豊か、さらには、とても不思議な国。そういったものを詰め込んだ。
- ・ レストランを、ドルフィンポートの一番前に持ってくる。メインはシーフード。
- ・ レストランが並んだその奥の広いエリアを遊園地化し、家族連れ、若者、そして修学旅行者などが訪れて楽しめるというエリアにする。
- ・ 遊園地の奥は、ビジターセンター、インフォメーションセンターみたいなところを作る。
- ・ 鹿児島を、北薩、中薩、南薩、大隅、熊毛、奄美に分け、それぞれの特色を活かした資料館を作る

【42 (134)】

- ・ スポーツ・コンベンションセンターに違和感を感じた。
- ・ 天文館含めてのエリアを人を呼び込む活性化するということだと考え、結果的にスタジアムをつくることは悪くない1つの案。
- ・ 理由は、すでにJ3にもかかわらず、5000人の平均観客を集めてる。それが月に2回担保される。
- ・ スタジアムに美術館とかそういったことも良い。いろんなものをつけ足し、そこににぎわいを作るということを大前提。
- ・ 5会場のスタジアム周辺でアンケートをとり、メリットデメリットをまとめた。中途半端に作るよりは本当に本物を作った方が良い。
- ・ 雨と灰が防げるような屋根付きのスタジアムが結果的には多分収益に繋がる。

【43 (135)】

- ・ コンセプトは、100年後も誰もが楽しめる鹿児島の町。
- ・ スポーツ施設は、与次郎ヶ浜にまとめる。
- ・ 音楽堂を作り、桜島をバックに演奏会。この周りには、レストランやテラス席も作って、休憩できるような場所とする。
- ・ 神宮の森とか、人工の森と作り、皆さんが楽しめるところを作ってほしい。
- ・ 本港区～鹿児島中央駅まで約2km間については、テラスモールということで、雨、風に影響されないものを作ってほしい。
- ・ 本港区～天文館～鹿児島中央駅、ここを1つの町として再開発し、国際都市としてイメージの大きいものを作り上げていかないとインパクトがない。
- ・ 車道の3車線を2車線に変えて、歩道広げて賑わいの広場を作る。

【50 (146)】

- ・NHKも入れて本港区の全部を公園にしてほしい。
- ・多くの樹木を植え、人が集まる場を作るべき。
- ・スポーツ・コンベンションセンターにて、日当たりが悪いということが、県議会でも議論されていたが、南側ではなく北側に建てれば良い。
- ・中、高校生が、試合後に天文館に行くか疑問。

【52 (148)】

- ・海のそばにあるということで、海というものも活用、生かすべき。
- ・まず、鹿児島県の稼ぐ力の向上を目指す目的のために、鹿児島の観光拠点スタジアムとしての活用を提案する。
- ・鹿児島の観光は、城山公園からスタートするというその観光を、この本港区のドルフィンポート跡地からスタートさせる形態に変えるということから始まる。
- ・鹿児島県には、素晴らしい観光地が数多くあるが、それぞれの観光地を結ぶ交通アクセスが弱い。私はクルーズ船を運航していることから、観光客の方がここに行きたいんだけど、どうすればいいとかとか、そういう声というのは非常に多い。また、バスに乗るけど、どうしたら良いかと。申し訳ないがバスの利便性はない。
- ・マイカーやレンタカーにてナビを使えばどうかというのは不親切じゃないかなと。そのためには、交通アクセスの手段を作っていくのが観光振興のためには必要と考えている。
- ・大型クルーズ船がマリポートに入ってきている。外国からのお客さんは、市内を観光し、お土産を買い、そのまま船に乗り込んで帰るというパターンが多いように聞いている。
- ・北ふ頭は、水族館が近くにあるため、観光バスターミナルとか、タクシー乗り場、そして海岸側に小型クルーズ船の発着場を整備することによって、いろんなところに観光客を誘導することができるというふうに考えている。
- ・もちろんここを拠点として、霧島、福山、垂水、鹿屋、佐多、指宿方面、錦江湾ぐるっとを囲む。錦江湾周辺の人口は40万人、鹿児島市が60万、そういった方々のところに観光客を誘導していく、もしくは、そういったところからの地方の方々をここに集めて人の流れをつくる。その一つの大きな拠点として、ドルフィン跡地を活用する。
- ・そんなに大きな施設は要らない。複合施設の一角に観光船のターミナルを作れば良い。

【53 (150)】

- ・本港区に美術館があったらすごく良い。
- ・他県の美術館では、ガラス張りの窓、大きな窓があり、屋上には小さな子供たち

が美術品と触れ合えるような空間があった。

- ・鹿児島にこういう場所があれば桜島を一望できたり、遊べる空間、美術と触れ合えるような空間があれば良い。
- ・美術館がもっと身近にあれば、鹿児島県民が、憩いの場になったり、観光に使うにあたって、とても良い場所になる。

【54 (151)】

- ・最高の観光と、人々の豊かな交流ということがテーマ。もちろん、スポーツ・コンベンションセンターが建つことを前提。
- ・メインの観光施設をここに新たに創出し、スポーツ・コンベンションセンターと合わせて、多くの方々が交流可能で、健康を向上させる多目的の緑地スペースも確保した形にしていただきたい。
- ・また、本港区にアクセスする交通網が車しかないことから、交通アクセスを大きく向上させるため、市電を延伸してほしい。
- ・市電延伸によりアクセスしやすい環境となり、桜島、種子島、屋久島の素晴らしい自然環境の支援もあることから、そこに繋ぐ観光旅の拠点にもなってほしい。
- ・利活用案を6つほどあげているが、エンターテイメントゾーンにて目立つものがない。例えば、外国人観光客が楽しんでもいただけるために、伝統工芸の大島紬の着て楽しんでもらって歩いたり、陶芸の体験、鹿児島水族館もある。また、アンパンマンミュージアムみたいな子供たちが喜ぶ施設や遊園地もあってほしい。水族館と連携した形にしてほしい。
- ・鹿児島は森が豊かですので、ウッドデッキにて人々が親しみやすい環境で、そのデッキから桜島の雄大さを望んでいただきたい。

【56 (154)】

- ・鹿児島県に美術芸術の拠点になる美術館というものがないということで何とか鹿児島の文化力上げるため必要。
- ・スポーツ・コンベンションセンターの横に、跡地を使って美術館を考えていきたい。
- ・本港区エリアは、鹿児島の象徴的な場所であり、景観等を含めて多くの人に来て楽しめる場所になっている。
- ・美術館は常時、人が来れる施設であり、イベントのときだけではない。
- ・美術館には、オープンスペースを多くとるような形で、レストランやショッピングもできるスペースも作りながら、天井を保有するという形。
- ・スポーツ・コンベンションセンターは高さがあるため、美術館は低く抑えるために地下を利用し、少し高さを抑えた形。
- ・美術館の広がりを作るために、ウォーターフロントパーク等に屋外型の作品を展

示し、美術館の広がりを作る。さらにこのエリアとしての展示スペースは限られているため、できれば海の上に浮かぶ分館を作る。分館はタグボートで湾内を移動できることから、国分、鹿屋、指宿等にも展示会を広げることができる。

【58 (156)】

- ・ 鹿児島県の港に限って言えば、鹿児島の景観、そして温泉と素晴らしいものがある。
- ・ 交流人口を増やすためには箱物をたくさん作るっていうよりも、今ある物をちょっと利用する。その一つは運河。港湾施設があるため簡単にできないが、いつかこれを作っていたきたい。
- ・ 飲食店も必要。いろいろ仕掛けをするということ。
- ・ 小洒落たバスを作って走らせることが大事。

【60 (160)】

- ・ 県立美術館が欲しい。まず一つ目に、需要と供給の面で考えると、一つの目的を持つ施設より多様な目的、多目的施設が一番欲しい。
- ・ 青森県の美術館に行ったとき、青森と鹿児島は北端と南端っていう、結構ほぼ同じ位置ではあるが、青森県美術館はすごく人が多く栄えていた。その美術館を、鹿児島に持ってくることはできないかと。
- ・ 鹿児島に来る日観光客の人たちは、何を目的にきてるんだろうと思ったときに、青森県の人たちは、一番の目的として青森県美術館に行くことを目的として行ってるんだ感じた。
- ・ 二つ目は、金沢県の美術館に行ったとき、美術館はやっぱり何か景観を損なっていない。景観がすごい大事だと思っている。ここに建てる建物としては。だから、景観を損なっていないという点では、美術館はいろんなバリエーションがあるし、集客も見込める。そこが一番重要である。

【73 (181)】

- ・ ドルフィンポート跡地だけではなく、本港区全体が歩いて楽しいまちになるように、回遊性を図る。
- ・ 計画の方針として、スポーツ・コンベンションセンターの配置変更、交通動線の整備、北ふ頭の活用、港湾関連用地の整備の四つ。
- ・ スポーツ・コンベンションセンターは、港湾計画を変更して、桜島への眺望を確保し、緑地と一体となった配置とした。・ 交通アクセス路線は、物流、旅客のアクセス動線とスポーツ・コンベンションセンターや緑地へのアクセス動線を分離するため、地下駐車場を計画し、混雑を回避する。
- ・ 北ふ頭は、空き地や使用されていない倉庫をコンバージョンして活用する。
- ・ 港湾関連用地は、石倉倉庫や旧合同公安庁舎をコンバージョンして、歩いて楽し

い空間，賑わいを創出する。

【75 (184)】

- ・本港区は，鹿児島県のイベントの中心地に，イベントの核にすべきじゃないかと提案した。
- ・スポーツコンベンションセンターは，ドルフィンポート跡地，浜町の土地にサッカースタジアムに建てる。
- ・ウォーターフロントパークは，今までサマーナイト花火大会，ラーメン王決定戦など，10万人を超えるイベントがあり，その特徴を生かして，スタジアムとウォーターフロントパークとスポーツ・コンベンションセンターをそれぞれ組み合わせたイベントをすることによって，今までのイベントもより大規模に，そして，新しいイベントを起こすことで，鹿児島にこれまでこれなかった県外や国外の方を招いて，経済の活性化を狙うという目的。
- ・行政は攻めに行かない姿勢が見られることから，もう少しイベントを誘致し，育てていく姿勢を見せてほしい。

【78 (190)】

- ・ドルフィンポート跡地は市に譲り，サッカースタジアムにすれば，開放的な花火を見たり，桜島をバックにコンサートが開けたりする会場ができる。
- ・災害を考えれば，桜島の災害が起きたときに避難してきたとき，大雨時，竜巻水からの避難所として，また，大浴場がある温泉を併設する。
- ・津波を考慮し，スポーツ・コンベンションセンターを少しかさ上げする。日頃は，下の方をイベントができる産業センターみたいになれば，雨の日でもいろんなイベントが開催でき，九州中から人が集まれる場所が作れる。
- ・鹿児島市全体の人を呼び込めるものとして，仙巖園から各港を繋ぎ，平川動物園まで続いたモノレールを作り，動物園の利用率も上がり，鹿児島に集客できる。

【79 (191)】

- ・世界に発信できるコンテンツとしてサーフィンができる人工プールの提案。・波打ち際には子供たちが遊べる形状とする。
- ・先月，宮崎の世界大会9日間の経済効果として84億円であった。

【80 (192)】

- ・シンボルタワー錦江湾マリントワーの建設と鹿児島の旅観光ターミナルの建設を提案する。
- ・鹿児島の方が鹿児島の魅力を知らないということが一番大きな問題である。
- ・本港区は，たくさんの船が通ってます。要するに，空港も近く，1時間で来れる。

本当にここが観光のポイント。

- ・城山に行くよりも、子供でも、いつでも来れるタワーを作って、鹿児島全域が見える観光スポットを作ってほしい。
- ・観光スポットを作っていただきたい大きな目的は、鹿児島に住みたいという人をたくさん集めること。

【83 (198)】

- ・2つのプランを提案する。そのプランを実現することで、鹿児島の特色を生かし、鹿児島の魅力を世界に発信する場所になる。
- ・プラン1は、屋内スポーツ、屋外スポーツ両方に対応した近付きスタジアムの構想を提案する。サッカーだけではなく、野球でもカヤックでも使用できる可変スタジアムにすることで、いろいろなスポーツと世界の人と触れ合うことができる。
- ・スタジアムの地下には、広い屋内運動場をつくるのはどうか。地下に降りると、屋内スポーツにも対応が可能で、バスケットボールや卓球などの大会も開催することができる。
- ・桜島に見える景観を守るため、建物の低階層化が必要。そうすることで、鹿児島のシンボル桜島を隠すことにはならないことから、鹿児島の良いところをアピールすることができる。更に、郷土料理を味わえるレストランや伝統工芸品などを購入できる売店があると、鹿児島のことをよく知ることができたり、いろいろな面で鹿児島に興味を持ってもらえたりすることに繋がる。
- ・プラン2は、錦江湾の自然や雄大な桜島の景色を楽しむことができる海上型テーマパークの併設を提案する。
- ・これまでの鹿児島では見られなかった錦江湾の魅力を伝えることができる海上型テーマパークを作れば、鹿児島の自然に興味を持ってくれる人が増える。
- ・スタジアムの前に広がる錦江湾を生かし、豊富なマリンスポーツを体験できる場所をつくる。例えば、カヌー、カヤック、ヨット、サップそしてグラスボードで集中探索をする。
- ・家族で訪れた場合は、子供の遊んでいる様子を見ながら疲れた体を癒すことができるようにスタジアムの近くにシーエリアを作る。

【88 (206)】

- ・市電の延伸にて回遊性の向上を図るのが良い。
- ・スポーツ・コンベンションセンターは、体育館としての利用はもちろん、イベントとしても使えるようなものを建てるのが良い。
- ・南ふ頭は、船を使う人以外は基本的にあまり利用しない区域であるが、横浜の大栈橋のように、一般の観光客が入れるような施設に整備してほしい。

【89 (211)】

- ・本港区の特徴というのを十分に捉えた上で、どういう土地利用が一番良いかというのを考えるべき。大型スポーツ施設ありきではない。
- ・本港区は中心市街地の一角であるという重要性はもちろん、結節点という機能が非常に大きい。
- ・陸と海の交通結節点である他に、都市と桜島という景観が会う場所でもあり、緑の公園もたくさん点在しており、うまく繋げばもっと広域に利用できる歴史的なところもたくさんあり、また、歴史と今を繋ぐ場所でもある。
- ・そういう中でどういう土地利用が良いか、私は駅が一番良いのではないか。もちろん、駅には商業施設も併設する。
- ・それから、市電も延伸してもらいたい。
- ・住吉15番街区は、唐戸市場みたいに飲食、物販機能があっても良い。
- ・北ふ頭は、橋が1本しかないことを踏まえると、一時的に大量の交通が発生することはあまり望ましくない。多様な時間に多様な人が集まる機能が良い。

【95 (217)】

- ・鹿児島ウォーターフロントの場所が、鹿児島の課題解決をできる場所になれば良いと思い提案した。
- ・鹿児島県は、いろいろなワーストのものが多く、今、鹿児島県が一番依存しているものが財源であり、7割を国に依存している。これを鹿児島のローカルハブを作るために外貨を稼ぐ必要があると、人口が落ちたときに、この場所を観光で稼ぐ力にするというのが私のコンセプト。
- ・こんな素晴らしい景観の場所はなかなか無い。
- ・ドルフィンポート跡地とウォーターフロント合わせたら大体6ヘクタールぐらいだが、ジャパネット高田が7ヘクタールの中に800億円かけて450万人の集客を見込めると同じぐらいの広さなのに、鹿児島県は体育館作っても40万人、そして経済効果が54億円ぐらいしかない。
- ・鹿児島県がどこよりも一番最初にこの場所を使って、鹿児島をこれから変えられる場所フラッグシップの場所になると思っており、ウォーターフロントのことだけでなく、ウォーターフロントを変えることによって、鹿児島県、そして日本、そして宇宙ですね、地球内を守るようなフラッグシップの場所にしたい。

「第4回鹿児島港本港区エリアの利活用に係る検討委員会」 プレゼンテーション

○開催概要

- ・ 日 時：令和5年7月24日（月）13:30～17:10
- ・ 場 所：鹿児島港本港区北ふ頭旅客ターミナル2階
- ・ 来場者数：122人

○プレゼンテーション発表者（発表順）

1. 「鹿児島港本港区エリア北ふ頭の利活用について」

ポナン社 伊知地 亮

【発表概要】

- ・ 北ふ頭を海の玄関口と意識した都市計画の検討を提案したい。
- ・ 小型なクルーズターミナルがあり，そこから市民と交流できるスペース，商業スペース、水族館を経て街中までを総合的に計画いただけたら，日本で最も美しい景観を持つ，利便性・コンテンツに富んだ海からの玄関を作ることができると思う。さらに市電を伸ばし，北ふ頭から天文館を経由して鹿児島中央駅まで結ばれると，本当に世界の有数の港になれるのではないかと思う。

2. 「鹿児島港本港区の利活用のアイデア」

（公財）鹿児島市水族館公社

【発表概要】

- ・ 潮風通りから水族館，イルカ水路に至る一連のゾーンを，桜島，錦江湾の優れた景観や潮風を感じながら歩いて楽しめる，また，ペットと一緒に気軽に飲食ができ，子供と自由に楽しく遊べるような観光アミューズメント空間にすることで，水族館の集客力と相まって日頃から人の流れが生じ，地域の賑わいづくりに繋がると思う。
- ・ 具体的には，キッチンカーや第1駐車場からの歩行アクセス改良，オープンカフェなどの設置のほか，潮風通りからイルカ水路までの照明設備の再整備やウォーキングコースの設置など。

3. 「鹿児島島の海と陸の汽水域」

竹添 星児

【発表概要】

- ・ コンセプトは「鹿児島島の海と陸の汽水域」。価値観や文化が混ざるような場所で、ベースは緑地を中心とした植物園。鹿児島県の植生を集め、憩いの場としてふさわしい場所に。緑地だけでは人を呼ぶ効果は薄いと思うので、カフェやレストラン、劇場、書店、ギャラリーがあるなど、わくわくするような空間で様々な方が交流するイメージ。
- ・ 本エリアが離島を含む鹿児島県内の皆さんが、自分の場所として自然の中で豊かに過ごすという、そういうシンボルゾーンになってほしいと思っている。

4. 「MANDOKORO ARCHITECTURER & DESIGN」

政所 顕吾

【発表概要】

- ・ 本港区のあるべき姿を考えるにおいて①「ミーティングポイント＝人々が憩い集まる」、②「スターティングポイント＝海の玄関口、鹿児島島の魅力ある人材を世界へ輩出していく場所」という二つのキーワードを設けた。
- ・ 住吉町一帯をアリーナ、MICE機能、VIPホテルを兼ね備えたコンベンションシティとし、北ふ頭にサッカースタジアム、その周辺にスパリゾートや商業施設を分散配置。ウォーターフロントパークは、基本的には緑地として残し、都市公園として位置づける。通りからの眺望や影という様々な観点からドルフィンポート跡地は低層低密度の計画として進めていくことを提案。また、本港区敷地一帯を2層構造にし、港湾機能と歩行者動線を分離。
- ・ 桜島を借景、広告塔としてフル活用し、眺望を眺めるだけでなく、積極的に取り込み、引き込んでいく計画である。

5. 「本港区エリアの利活用について」

NPO法人ゆめみなと鹿児島

【発表概要】

- ・ ウォーターフロントパーク及びドルフィンポート跡地は子供が遊び、若者が集い、高齢者が憩う場としての基盤を整備し、観光客にも利用しやすい空間となることが望ましく、屋外テント広場、ジョギングコース、飲食施設、道の駅などの整備が望ましい。

- ・ 北ふ頭は、ターミナルをダンススタジオなどの健康増進のための施設とし、屋外にスケートボード場などの整備、上屋を活用したイベントスペースの整備やクルーズ船ターミナルの整備が必要と考える。
- ・ ウォーターフロントの価値を向上させていくためには、管理・運営体制を整える必要がある。

6. 「県外に出た私たちが気づいた鹿児島島の魅力」

桜島LOVER 30' S女子

【発表概要】

- ・ 本港区エリアは、政治・経済・暮らし・観光、どれをとっても重要な拠点である。
- ・ コンセプトは、「みんなが集える目的地に」。ポイントとしては、一つ目、景観については、桜島の景観を崩さないこと。二つ目、暮らしについては、地元の人が集まる楽しく便利な場所であること。三つ目、観光は、桜島などの離島と天文館の間であることを最大限に生かすこと。
- ・ 晴雨兼用の幼児の遊び場や学びの場があってほしい。
- ・ 離島を五感で体験できるような仕掛けがあるといい。例えばコンセプトムービーや食べ物、植物などを体験できる場所。

7. 「鹿児島市中心市街地及びウォーターフロントを中心としたまちづくりビジョンに関わるアイディア」

NPO法人薩摩リーダーシップフォーラムSELF

【発表概要】

- ・ 鹿児島中央駅から天文館の方へ向けて広がっている中心市街地の商業ゾーンを、大きな通りがまっすぐ本港区の方に繋がっているの、本港区エリアは文化観光の交流ゾーンになるんだろうと考える。
- ・ 鹿児島駅、かんまちあ、石橋記念公園などのいくつかの公園があるエリアをウェルネスゾーンとして捉え、ウェルネスゾーンに体育館を作るのがいいのではと考えた。
- ・ 真ん中のドルフィンポートは、未来の予測は難しいので、小規模で低層のもので入れ替えが可能なフレキシブルなまちづくりが理にかなっているのではないかと思う。
- ・ 多目的な新型アリーナというのは、本当にゾーニングがこれでいいのかということも含めて検討頂きたいと思う。そして、世界に誇れる建築物、ランドマークとなるそういったものを、実現できるような設計公募の仕組み作りをお願いしたい。